

あすなろだより 8月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会



今月号では夏季休業中の3つボランティアの報告と秋のボランティア募集のお知らせをします。

○夏休みに行われたボランティア報告

①福祉体験バスツアーで広島修道院と太田川学園を訪問しました。

8月1日、あすなろ会で、さまざまな事情により家庭で養育を受ける事が難しい子どもたちが生活する「広島修道院」(広島市)と、知的障害のある方に対して施設入所支援、生活介護、短期入所、就労継続支援、共同生活援助などの福祉サービスを行っている「太田川学園」(広島市)を訪問しました。

○生徒の感想より

・広島修道院では、子どもたちが立派に成長して自立できるようにたくさんの工夫がされている事を知りました。家庭に近い環境作りをするために少人数に分かれて実際の家のようなかたちで生活したり、一人ひとりに寄り添った養育をするためにチームを作って計画を考えたり、子どもたちが健康に暮らせるようにおやつを昆布やいりこなどにしたりと、きめ細やかな支援をされていました。保育士だけでなく社会福祉士、栄養士、看護師、児童指導員などの職種の方も修道院で働いていると聞いて、福祉に関わる職種は幅広いと思いました。



・太田川学園では知的障害者の方と接するのは初めてなので少し不安でしたが、利用者の方たちはジェスチャーでコミュニケーションをとろうとくださったり、近寄って来てくださったりして不安もなくなり、楽しく過ごすことができました。



知的障害者の方は、見通しが持てなかったり、一つのことに執着しすぎたりという所はあるのですが、それぞれの個性を発揮して、素晴らしい芸術を作り上げる事ができるなど、一人ひとりに輝ける場所があるとわかりました。施設の職員さんは、給食も個人の健康状態に合わせた献立を作られたり、障害によって室内を工夫されていたり、やりがいをもって明るく働いておられました。だから、利用者の方が笑顔で生活できる温かい雰囲気になっているのだと思いました。

今回のバスツアーでは、自分の視野を広げることができ、また生き方や職業について考えるきっかけになりました。

